会 議 録

会議の名称		桶川市立桶川西中学校 第1回学校運営協議会	
開催日時		令和4年4月28日(木)	
NII E H EA		(開会) 13:30 (閉会) 15:55	
開催場所		桶川西中学校 図書室	
出席者氏名(委員)			遠藤絵美,水村芳博,石森一輝,原忠夫
		百瀬勉,竹花功,今井唯太	
欠席者氏名 (委員)		岸敏雄	
傍聴者		0 名	
議題		(1) 令和4年度学校運営の基本方針の承認	
		(2) 意見交換	
	協議結果		意見の概要
協	○校長挨拶		
	・県の職員教諭30名の勤務時間7時間45分だ		
議が、下校時間は		は18時。時間外勤務の教職員多く	
	150時間を超える教員もいる。		
等 ・学校規模、通		常14学級、特別支援2学級、49	
2名在籍。感		e症対策で行えていない行事もある	
要が、修学旅行		校外学習が予定通り行えるように	
	準備をしている。		
山口	○令和4年度等	や校経営の基本方針の承認	・水村氏
・学校経営方金		†「学校教育目標等」	時間外勤務について。どの学校段階かは
		利用。生徒1人1端末を利用し、授	不明だが、部活動に関して一ヵ月1,2
業で利用してレ		いる。また、感染症対策として、出席	00円徴収し活動費としている学校が
できない場合、		ハイブリッド授業などでも利用し	あるという報道を目にした。今後、その
ている。			ような考え方があるのか。
2年度は23年		の対応。本校の不登校認定は、令和	⇒(校長)部活動指導に対して、社会教育
		4、令和3年度は19名。家庭との	として指導者をたてていく方針が『国』
		数値目標をたて改善につなげてい	から示されている。その場合、予算は家
			庭からではなく、行政から負担されると
		無のために、教頭を中心に倫理確立	思われる。本校では7名の外部指導員を
委員会を設置し		ン、継続的な研修を行う。	依頼している。今後、外部の指導者の協
		意識した働き方改革の推進。	力を得ることは拡大していくと思われ
	• 学校課題研究	Eでの研究研修について。	る。
			・佐々木氏
			勤務内容の削減の具体案はあるのであ
			ろうか。例:テストのマークシート利用

○学校運営協議会の会長、副会長の選出

・会長、佐々木和明:日出谷小学校での会長の際に 竹花教頭と協力した経験がある。 桶川西中学校の 卒業生として、大先輩である礒田校長に協力して いきたい。自治会の会長も務めているので、地域 との関わりも大事にしたい。

・副会長、百瀬勉:西小学校の学校運営協議会の副会長も務めているので、見比べられるものもある。中学生は「地域に関われる」年齢でもあるので、どのように「関われる」か準備をしていきたい。その活動が愛校心につながる。

○意見交換

や、外部の業者との連携はあるのか。
⇒業者との連携は増えてはきている。勤務時間を「意識する」ことも必要である。
⇒負担軽減のため『会議でのペーパーレス』『通知表での所見の廃止(面談での代用)』などをおこなっている。定期テストを、県公立入試に向けた指導として考えると、マークシートでは十分とはいえない。教材教具の共有による負担軽減も行っている。

• 百瀬氏

オンライン授業などでの勤務形態 ⇒(校長)自宅勤務という勤務形態があ る。

• 佐々木氏

生徒が地域に関わるための手続きなどについて。

例:地域の行事に、中学生がお手伝いと して関わってもらえるのか。依頼や相談 の仕方について。

⇒(教頭)手続きの確認。

• 原氏

例:日出谷地区のお祭りや運動会の実施

を検討している。まだ中学校との関わりは検討していない。

• 佐々木氏

中学校としての中学生と地域との関わり方の「好ましい形」というのがあるか。 ⇒(校長)地域の中で、生徒が活躍し役に立つような場があるとよいと考えている。お祭りのお手伝いや川田谷地区の合宿通学など

·水村氏

川田谷地区でも様々な行事が計画されていたが、感染症対策や天候不順などで7~8年実施できていない行事もある。『高齢者感謝の集い』で吹奏楽部が演奏してくれたこともある。中止していたが、再開できるかもしれない。しかし施設の改修などで困難な部分もある。施設の利用も含めた検討をしていきたい。

配付資料

- (1) 次第
- (2) 年間行事計画
- (3) 西中だより 第1号4/8
- (4) 学校経営方針
- (5) 学校運営協議会の「手引き」